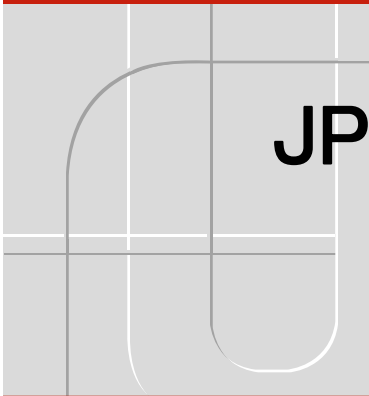




JP1による営業携帯端末システムの ソフトウェア管理

2007年11月19日

フコク生命

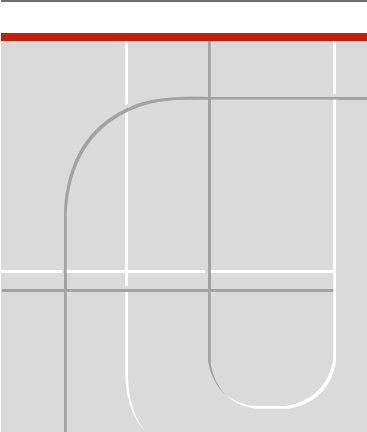
富国生命保険相互会社

フコク情報システム株式会社
システム技術部 シニアマネージャー

齋藤 賢

目次

I .会社紹介	2
II .システム概要	5
III .運用上の課題と解決方法	11
IV .今後の取り組み	20



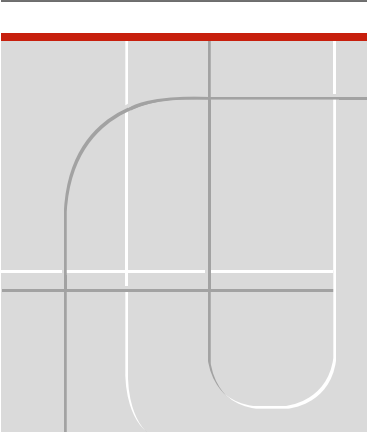
I .会社紹介

会社紹介

- 名称 : 富国生命保険相互会社
- 設立 : 大正12年11月(1923年)
- 所在地 : 東京都千代田区内幸町2-2-2
- 総資産 : 5兆8,930億円(2007年3月末現在)
- 従業員数 : 13,771名(2007年3月末現在)
- 事業内容 : 個人・企業向けの保険商品の販売と保全サービス
財務貸付・有価証券投資など

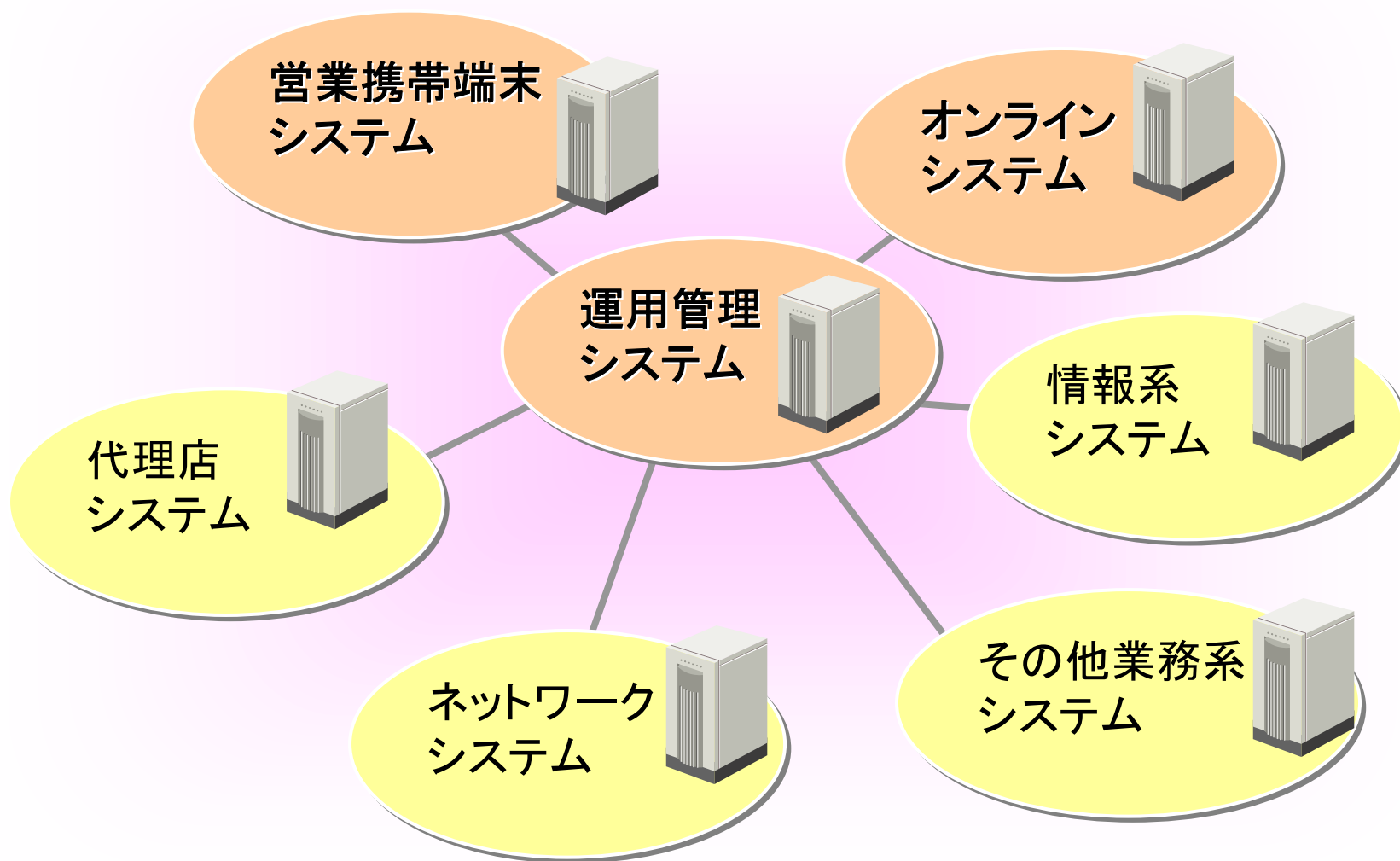
会社紹介

- 名称 : フコク情報システム株式会社
- 設立 : 平成14年4月1日(2002年)
- 所在地 : 千葉県印西市大塚2-10
(富国生命千葉ニュータウン本社ビル内)
- 資本金 : 3億円
- 売上高 : 68億円(2007年3月期)
- 従業員数 : 178名(2007年9月1日現在)
- 事業内容 : コンピュータシステム、情報通信システムの企画、設計
開発、保守、運用管理

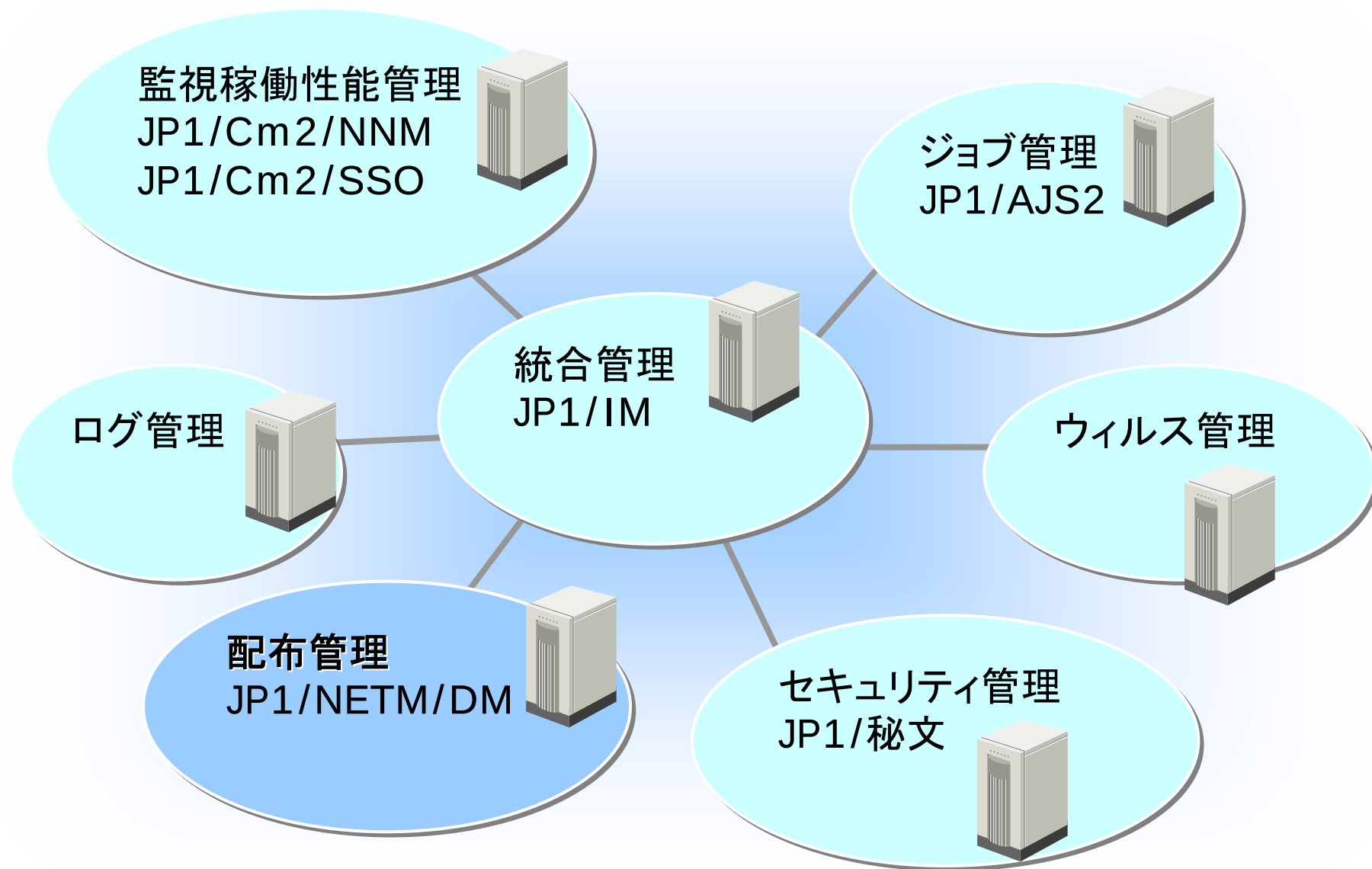


Ⅱ.システム概要

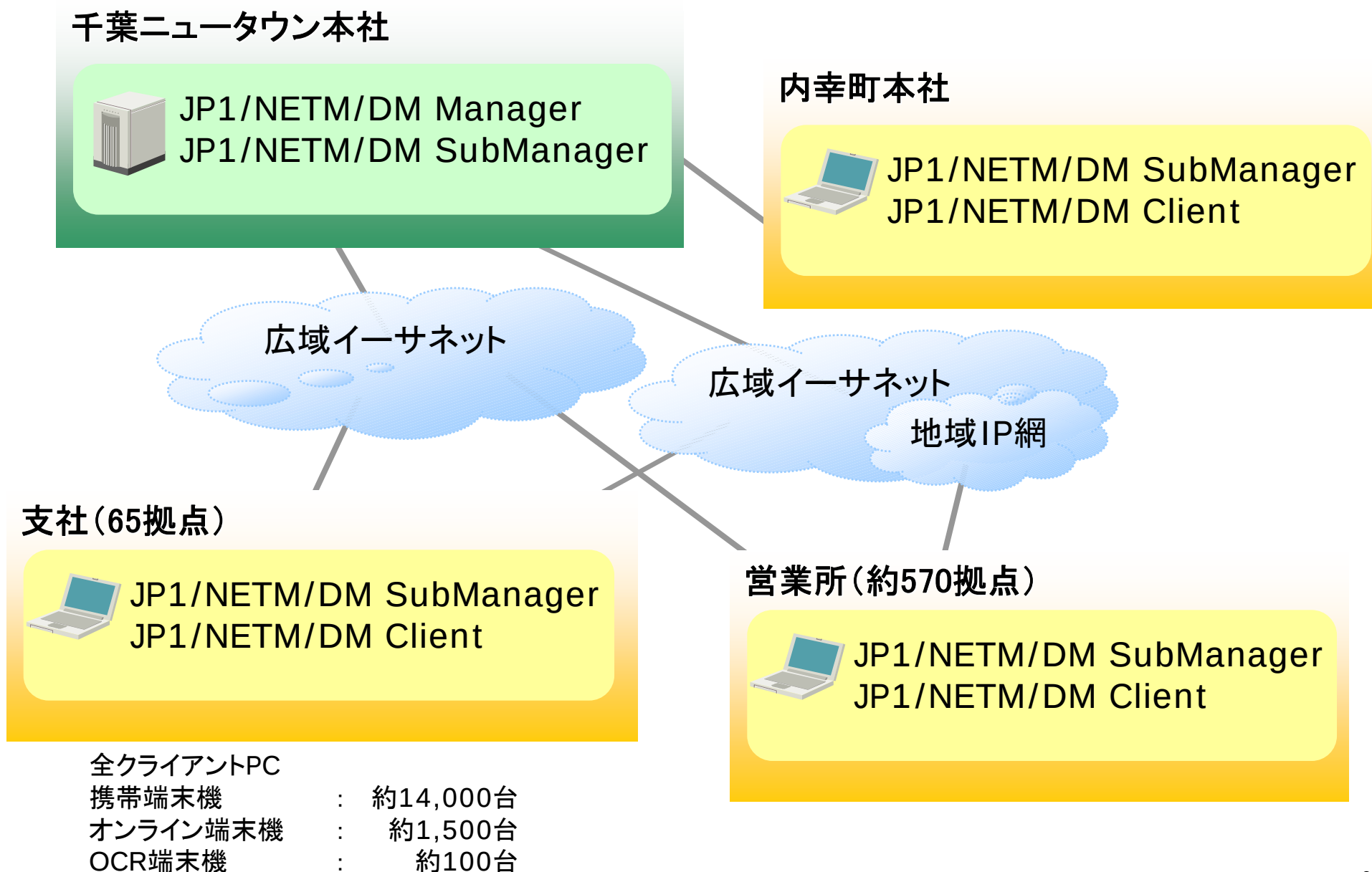
システム構成 — 富国生命におけるシステム基盤 全体概要



システム構成 — JP1による運用管理システム 全体概要



システム構成 — JP1による配布管理システム 全体概要



システムについて - 営業携帯端末システム -

営業携帯端末システムとは

営業職員が保険商品の対面販売で使用する携帯端末機(PlanDo)のシステム

営業携帯端末システムの特徴

- ①: 保険商品の御見積である保険設計書作成機能・ライフプラン作成機能
- ②: 保険申込書作成等のオンライン処理機能
- ③: 既契約情報と併せた顧客情報管理機能
- ④: 営業職員の活動管理・活動分析機能
- ⑤: E-Mail等のコミュニケーション機能
- ⑥: 強固なセキュリティ

サイン認証、暗号化、インタフェース抑止、
コンピュータウィルス対策、ソフトウェアの一元管理

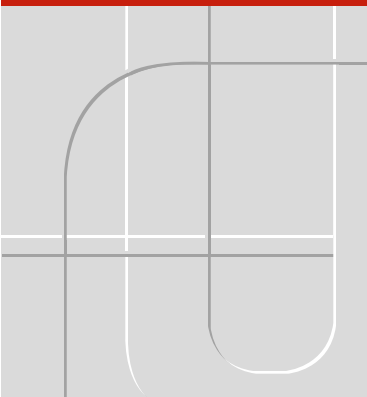
システムについて – オンラインシステム –

オンラインシステムとは

基幹系業務のオンライン処理で使用するオンライン端末機、OCR端末機のシステム

オンラインシステムの特徴

- ①: 事務処理、経理処理、営業支援等のオンライン処理機能
- ②: 保険申込書等のOCR入力、訂正機能
- ③: 強固なセキュリティ
インタフェース抑止、コンピュータウィルス対策、ソフトウェアの一元管理



Ⅲ.運用上の課題と解決方法

JP1の導入経緯

2000年以前

メインフレーム直結の専用機・専用OSのオンライン端末機

問題点 フロッピーディスクによるソフトウェア配布

フロッピーディスク作成の手間
インストール徹底の問題

エンドユーザーの負担
システム障害の要因

2001年～2005年

オンライン端末機・OCR端末機にJP1 / NETM / DMを導入(Ver5)

問題点 携帯端末機はオンライン端末機に配布しバージョンアップ

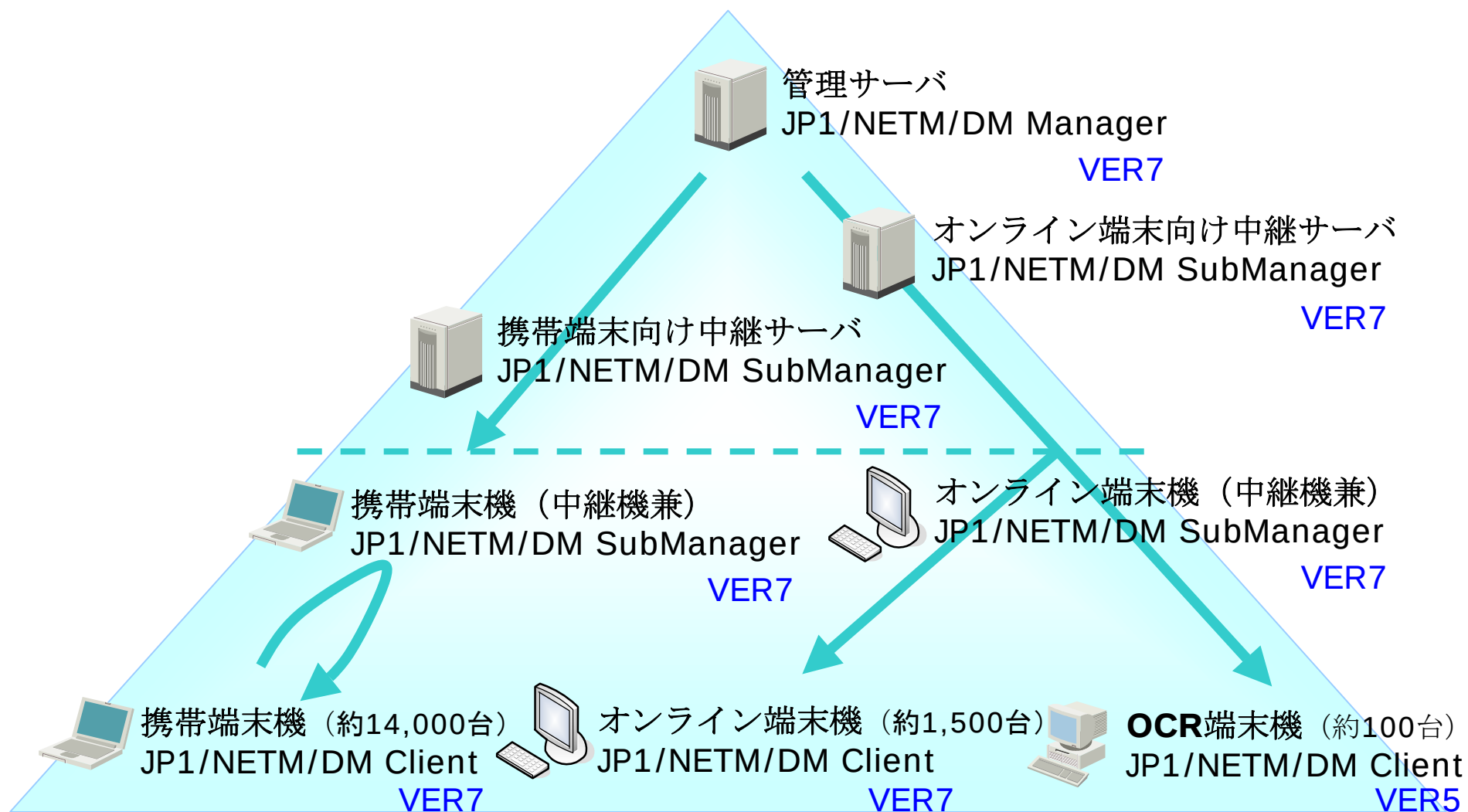
配布できるソフトウェアの制約
インストール障害の対応が困難

インストール状況が不明
システム障害の要因

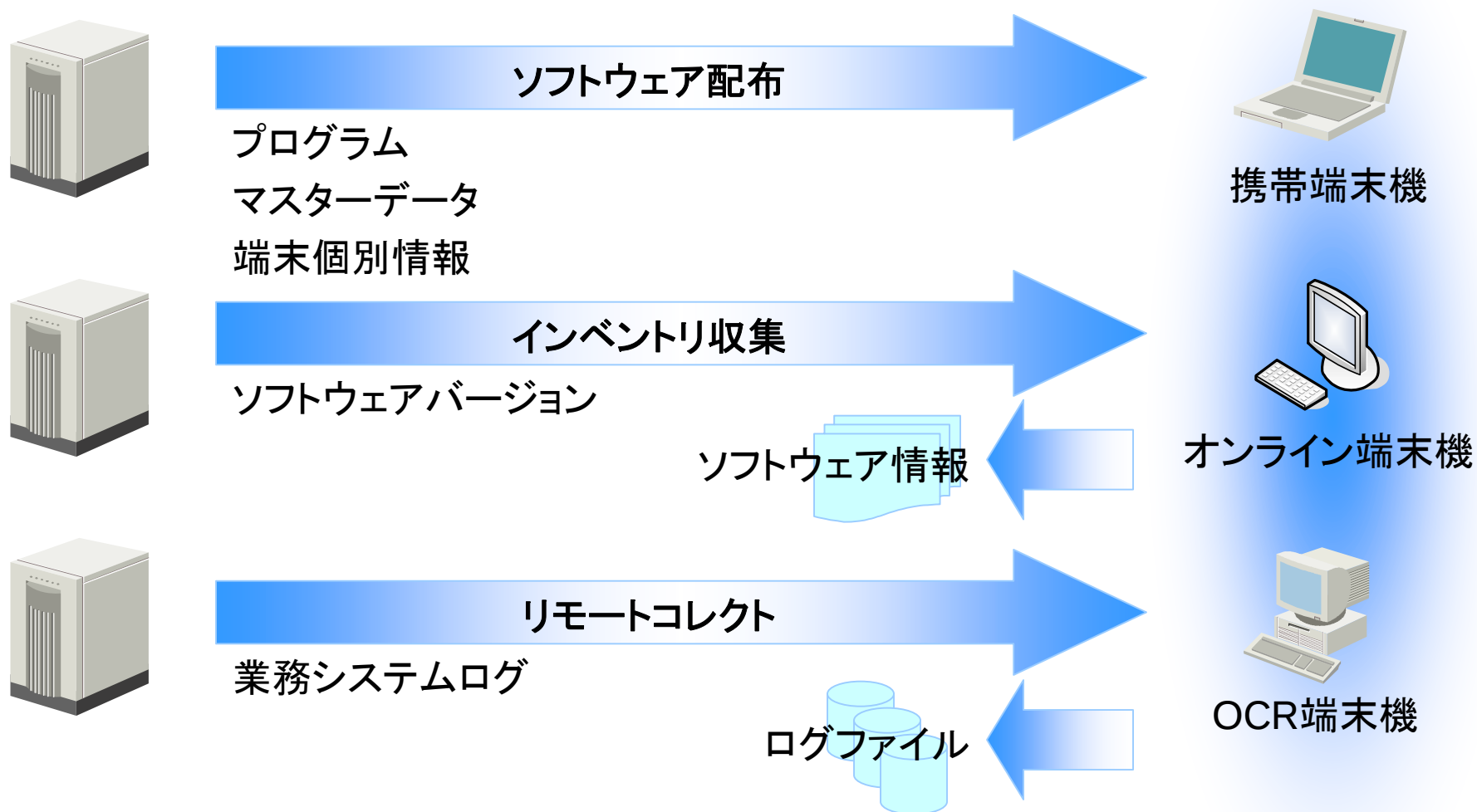
2006年～

全てのクライアントにJP1 / NETM / DMを導入(Ver7)

JP1/NETM/DMの構成イメージと配布経路

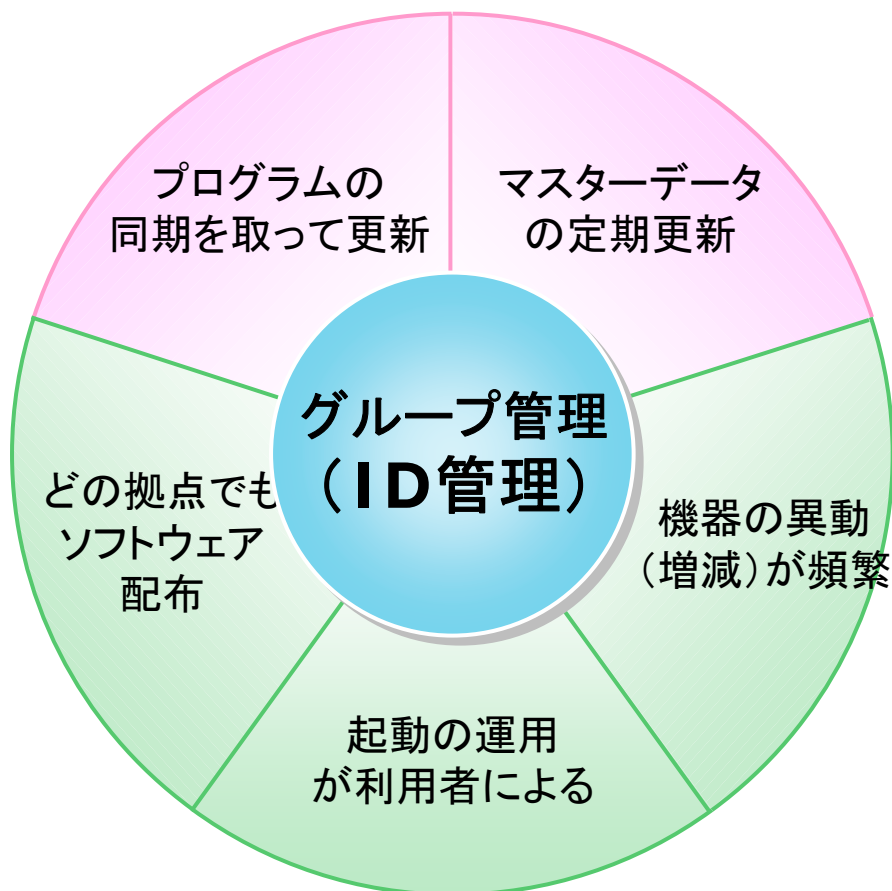


利用している主な機能と用途



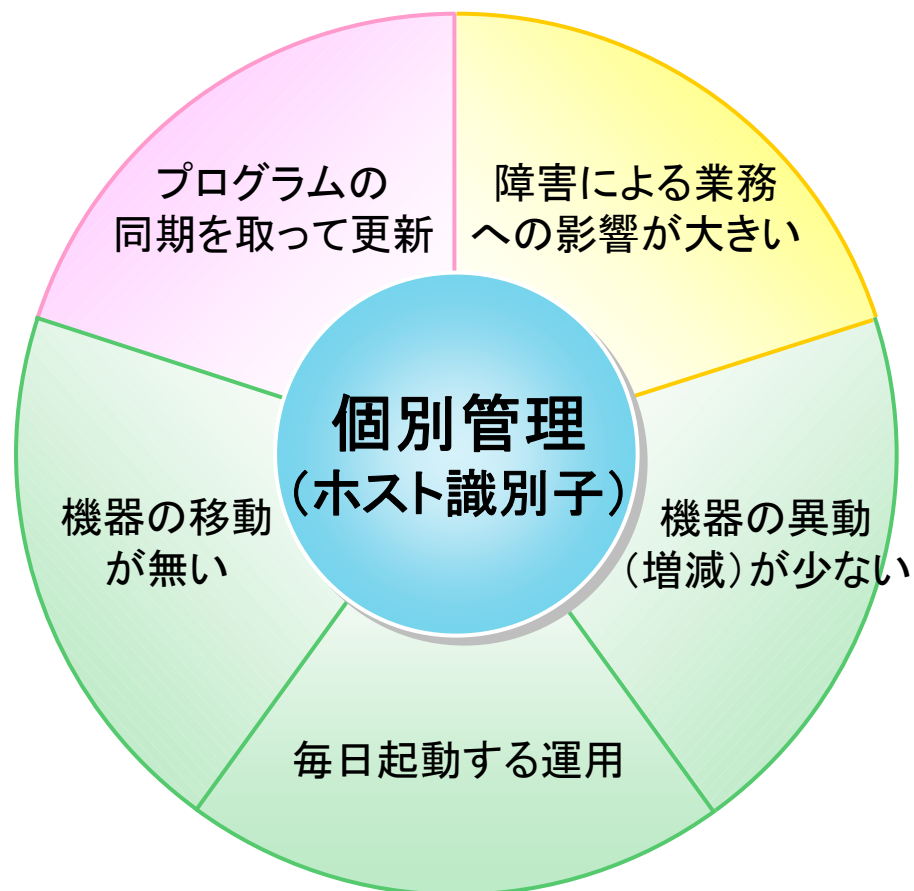
JP1/NETM/DMの管理方式と適用事由

携帯端末機



あるグループに配布されたパッケージを全て適用する管理方式

オンライン端末機・OCR端末機



配布するクライアントを指定して個々に適用する管理方式

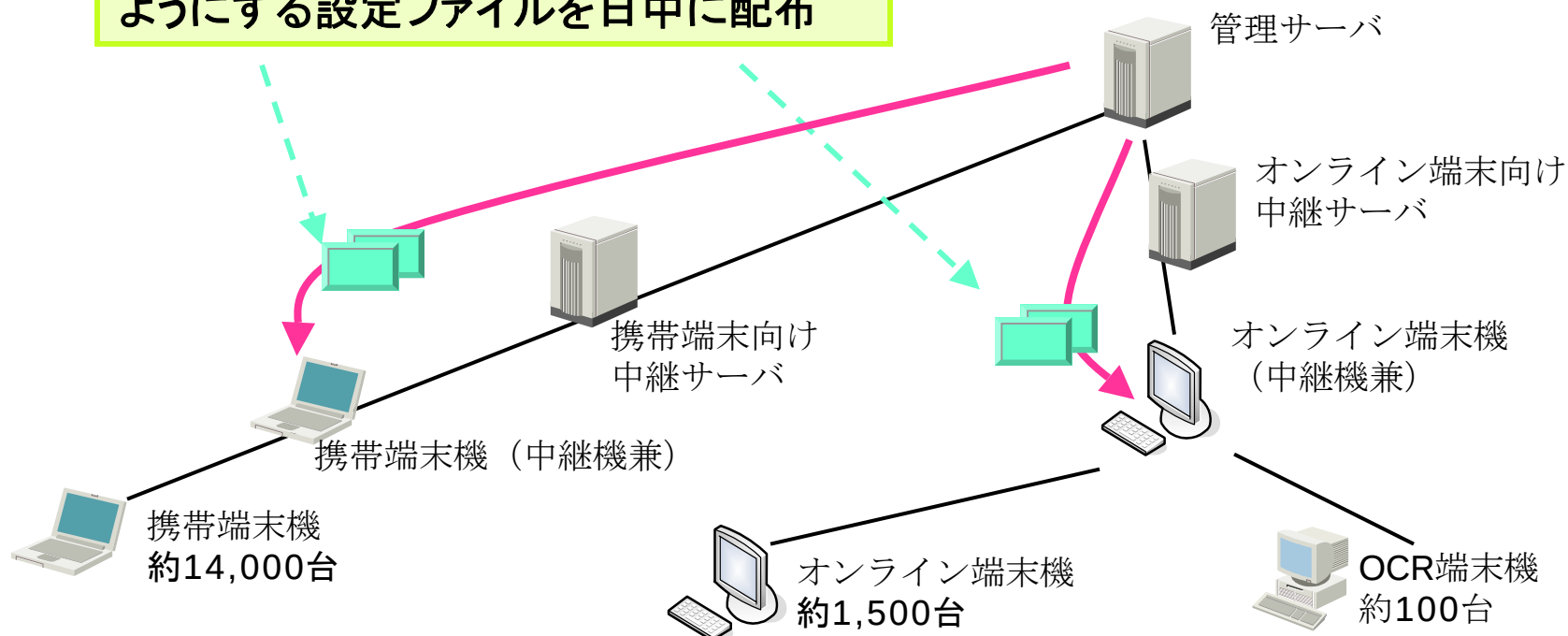
運用上のリスク管理

課題1

配布物によってはネットワークに高い負荷を与え
業務系および情報系に支障をきたす可能性

業務時間外に各拠点の中継機にJP1で配布する運用

パッケージの受信まで電源が落ちない
ようにする設定ファイルを日中に配布

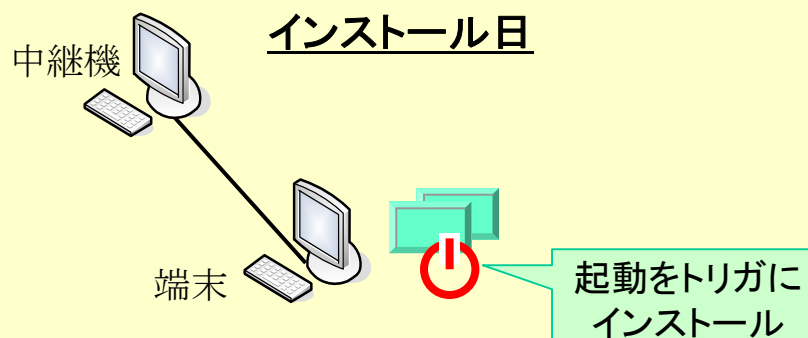
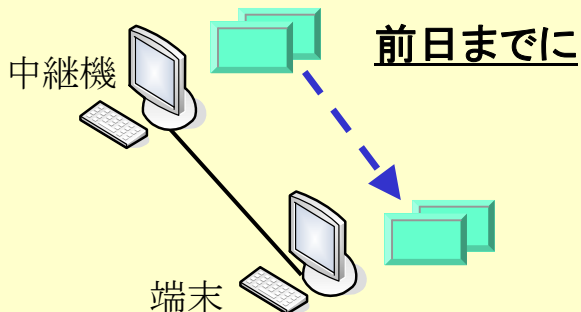
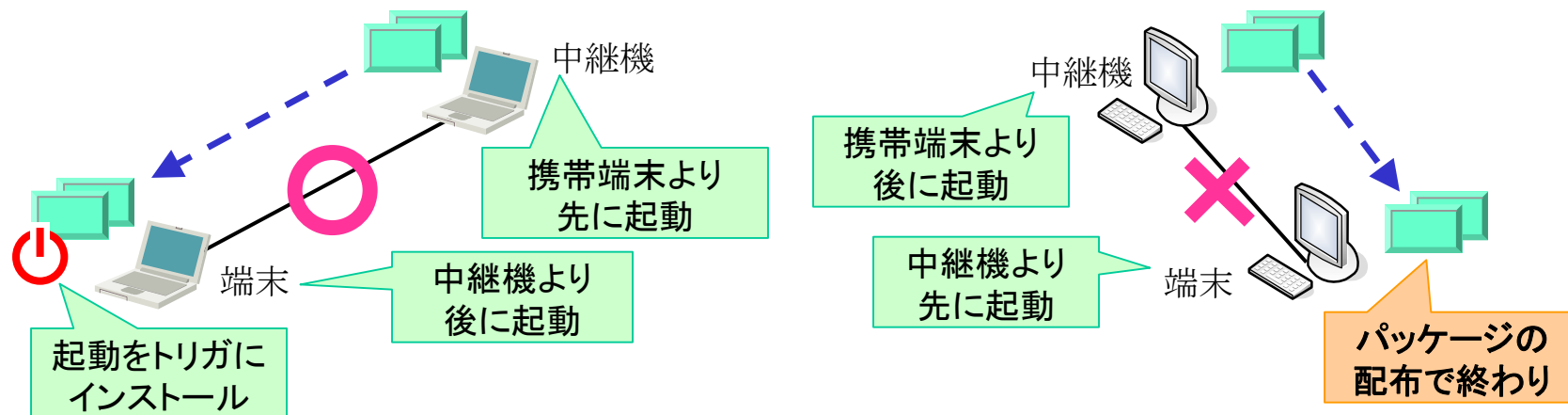


運用上のリスク管理

課題2

中継機能を有する携帯端末、オンライン端末とクライアントの起動タイミングによる未インストールの可能性

インストール日前日までにパッケージのダウンロードが完了するようスケジュール



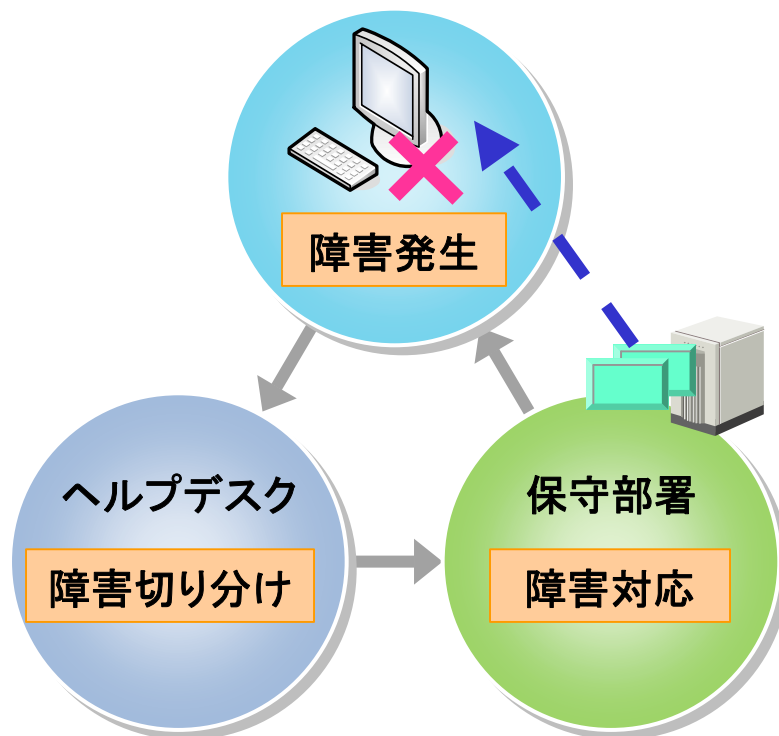
運用上のリスク管理

課題3

インストール中の停電による電源OFF、フリーズ等の
予期せぬ障害時にソフトウェアが破壊される可能性

通常運用における配布物は復旧用パッケージの準備

ヘルプデスクによるバックアップ体制

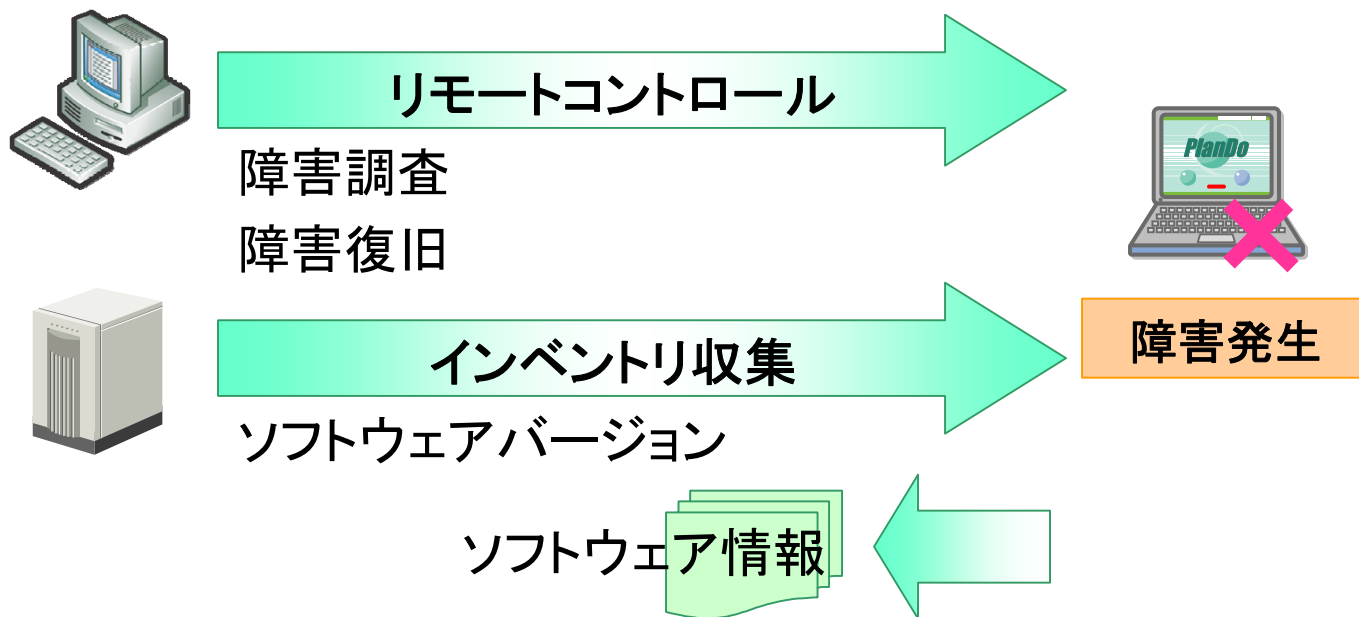


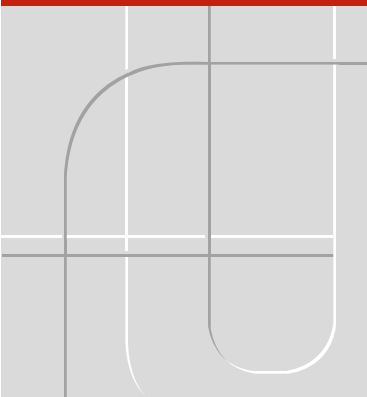
課題4

障害発生時の早期復旧と作業ミスの管理

リモートコントロール機能による障害復旧

作業ミスの管理のためインベントリ収集でバージョン確認



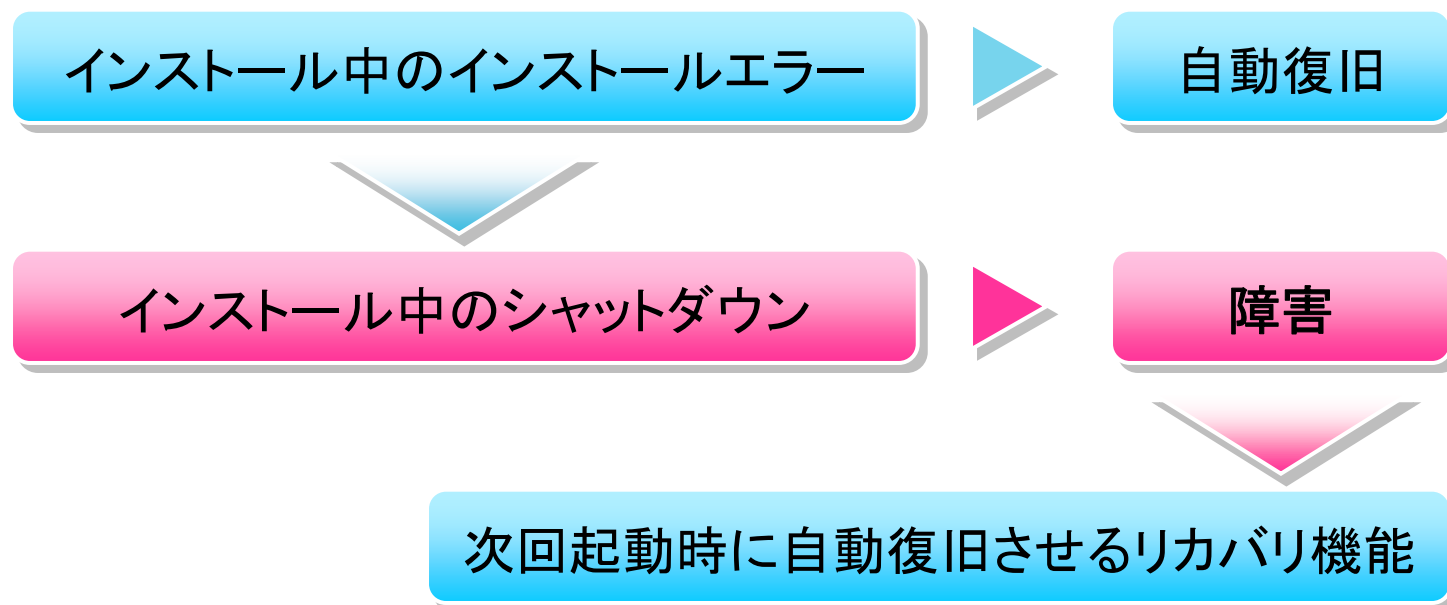


IV.今後の取り組み

今後の取り組み

現状の問題点

インストール障害の自動復旧



元の状態に戻る事によりパッケージの再配布のみで早期復旧

今後の取り組み

今後の展望

ソフトウェアの配布管理から資産管理としての利用

現状

クライアントに多くの情報があるシステム

今後

クライアントにプログラムを持たないシステム

展望

ソフトウェアや機器の棚卸としての利用

今後の取り組み

今後の展望

使わせないインターフェースから未承認ソフトウェア・機器を検疫する利用

現状 インターフェースの抑止により未承認ソフトウェア・機器を管理

問題 利用者に応じたポリシー適用により運用が煩雑

展望 未承認機器の検疫や監査証跡を管理する利用

おわりに

JP1/NETM/DMを導入するにあたって重要なポイント
システム側、エンドユーザー側ともに “どんな運用をするのか”

“JP1を導入すれば全て解決する”という夢物語は無い！

高機能、多機能の反面、“運用を想定した構築をしなければ”...



運用要件および運用設計を十分に検討し
導入後は運用状況の評価をしていく事が重要

JP1による営業携帯端末システムの ソフトウェア管理

ご清聴ありがとうございました。

フコク情報システム株式会社
システム技術部 シニアマネージャー

齋藤 賢

●他社商品名、商標等の引用に関する表示
・秘文は、日立ソフトウェアエンジニアリング(株)の登録商標です。